



革靴製造工 40年 (株)アサヒコーポレーション(洗町)
こが ひろあき
古賀 博昭さん (59歳)

経験で培った目が光る 熟練の靴づくり

靴のことを熟知していないと出来ない靴の仕上げ段階の目視による検査工程を任されている古賀さんは「ミシン目の縫い落ちや蛇行等の問題があれば柔軟に対応し、また次の工程につないでいくためにスタッフ同士のコミュニケーションを大切にしています」と語ります。30年間、革靴を作ってきた古賀さんの経験と技術は、周りとの人間関係や靴作りを円滑に行うことにつながっています。



ソール(靴底)を接着する前の
アップパー(靴底を除いた部分:
左)と完成した製品(右)。